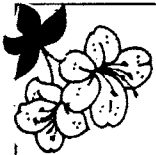


2015年  
4月号

カトリック笹丘教会  
**教会 ニュース**

福岡市中央区笹丘1-16-1  
☎761-4504 F761-4524  
広報委員会

福岡教区今年度の目標…「信仰の伝達」  
小教区今年度のテーマ…「学び、伝えよう、家庭から私たちの信仰を」



主のご復活おめでとうございます！



主任司祭 遠山満

皆さん、主のご復活おめでとうございます。皆さまご自身に、また皆さまのご家族、ご親族、友人、知人の皆さまにも、主のご復活の喜びが満ち溢れますように、お祈り申し上げます。

ところで、ご復活の主日（日中）のミサの福音朗読の箇所には、次のような件があります。「それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた。イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったからである」（ヨハネ 20 章 8～9 節）。復活のことをまだ理解していないということは、主の復活をまだ経験していないと言いかえることもできると思います。主の復活を体験したことがなかった弟子たちは、ただ信じるしかありませんでした。

その後、弟子たちは主の復活を体験します。それは、筆舌に尽くしがたい体験であったに違いありません。彼らの心の中に畏れが生じたことでしょう。それゆえ彼らは、その八日後も尚、家の戸に鍵をかけていたのだと思います。

弟子たちが最初、主の復活を体験した時、その場に居合わせなかったトマスは、体験するまで信じないと明言します。その八日後、主の復活を体験した時、トマスにとって、その体験は、他の弟子たちと同様、筆舌に尽くしがたいものであり、畏れを生じさせるものでした。トマスは言います。「私の主、私の神よ」（20 章 28 節）。それは、信仰告白であると同時に、自らの罪深さの告白でもあったと思います。

復活体験は、弟子たちの信仰を強めたに違いありません。しかし、それで弟子達が後の人生を順風満帆に過ごした訳ではありません。理解していなかったことが沢山ありました。それゆえ、その後も継続して、理解することなく信じて歩む必要がありました。

私たちの信仰生活も同じです。初めに信じる必要があります。しかし、それだけで生涯を信仰の内に歩みきることは不可能です。それゆえ、「信じている事を理解できるよう、あなたを体験させて下さい」と復活されたイエス様に申し上げてみましょう。復活した主が、私たちに触れて下さる時、それは私たちにとっての、回心の時にもなるのではないのでしょうか。

## ハッピー・イースター

アントニオ山野聖嗣OSA



皆さん、主のご復活おめでとうございます。

笹丘での2年間の修道生活は、あっという間に過ぎてしまいました。

昨年の6月に帰天されたカルメル会の奥村一郎神父様が作られた「詩」を、私のお別れの挨拶の言葉に代えたいと思います。

### 【そのままに】

何も考えないで、何も言わないで、ただそのままに生きたい。悲しいことも、楽しいことも、さびしいことも、つまらないことも、あるけれど、悲しみはかなしみのままに、楽しみは楽しみそのままに、そのままに生きたい。この地上のことは、みんな、いつかは消えていく。万物流転、嫌なことも、楽しいことも。小鳥が小枝で、虫が草むらで鳴くように、そのままに生きたい。あまり窮屈なことをいわないで、あまり自分の好みを人に押し付けしないで、みんなと、そのままに自由な空気を吸って生きたい。神様は、何一つ同じ素質を同じようにお与えにはならなかったのだから、小さいものは小さいなりに、大きいものは大きいなりに、そのまま、与えられたそのままを、恥ずかしがることも、恐れることもない。そのままうけて、主を讃えよう。狭い心にならないように。間違っただって、いいじゃないか。間違いも、そのままに受け取れば、少しは謙虚の薬になる。神様は、私たちが、失敗することを責められない、そうしたことにこだわって、いらしたら、無闇に、自分をいじめることを、嫌われる、何も考えないで、何も気にしないで、そのままに、うけて生きよう。

聖アウグスチノ修道会は、東京・名古屋・福岡・長崎の4個所で会員たちが働いています。長いか短いかの差はあっても、会員の移動は必ずあります。私の場合、ちょっと短かったんですけど、「そのままに」私らしく、新しい司牧先へと行って参ります

キリストは復活されたアレルヤ キリストの復活はわたしたちの希望

## 洗礼おめでとうございます



復活徹夜祭でおひとり、復活の主日に母娘のおふたりがそれぞれ洗礼を受けました。

## 復活祭パーティー

4月5日の復活祭に、受洗された三人のお祝いと名古屋「港教会」へ異動される山野神父様の送別会を兼ねたパーティーが開かれました。そして、パーティーは教会学校の先生を卒業される椎山先生への感謝の集いにもなりました。



写真 左から洗礼を受けられた泉さん、松尾さん母娘、港教会へ転出される山野神父様、永年教会学校の先生をされ、この度卒業された椎山先生と花束贈呈の菅くん



椎山先生と教え子たち



山野神父様ケーキ入刀？

ファミリア合唱団と川上さんのコラボ



新調した、わたがし機の試運転

洗礼おめでとうございます。山野神父様もお元気で！



綿菓子 おいしいよ

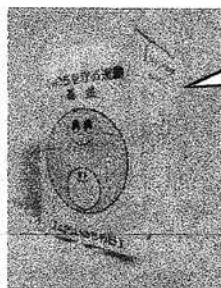


ほら！ あっち あっち

今日こそ神が造られた日、喜び歌え、この日とともに。



## 「いのちを守る運動」に御協力を



メイちゃんの基金箱  
を家庭に1個置いて  
みませんか

福岡地区女性の会は「いのちを守る運動」を支援しています。笹丘小教区の皆さんも福岡地区女性の会の会員です。

「いのちを守る運動」は1999年4月25日に開かれた日本カトリック女性団体連盟（日カ連）創立25周年沖縄大会の『いのちのはじまりから死に至るまで生かし合おう、尊いいのちを』の大会宣言のもと始まった支援活動です。メイちゃんの基金箱のロゴマークは「いのちを抱くいのち」を表しています。

（福岡地区女性の会委員 川原圭子）

5月10日のバザーをみんなで成功させましょう

## 編集後記

ご復活、ご降誕前にゆるしの秘跡を受けて、お祝い日を迎えたいので、罪の告白をする。告白までに長い列ができるので、家が教会の真ん前であるため、自宅でぎりぎりまで過ごす。今回は、もう終わったのではないかと半ばあきらめて出向くような時間帯になってしまった。しかし、最後の一人と言った感じで、ぎりぎり間に合った。それが、ものすごく嬉しかったので、告白した時に「後で、主の祈りを3回唱えてください。」と伝えられたのをすっかり忘れてしまっていた。怠り、怠慢に関してお許し下さいと願ったばかりなのに、またまた……その日の内に思い出したので、すぐ祈ったけれど、真剣さがない証拠だ。まだまだこんな自分だが、これでも成長していると思う。ご復活おめでとうございます。(J.N)

